

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○雇用支援の充実

労働環境対策事業

【 産業振興課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 勤労者福祉
 施策の方針 雇用支援の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者等

意図 勤労者の労働環境の向上を図るため。

効果 基礎資料を得るとともに労働問題への啓発を図り、労働団体への補助金の交付を通して勤労者の福利厚生の実現を図りながら、雇用対策の充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 労働動態調査、地区労働団体との協議、補助金の交付を行った。
- ・ 雇用対策事業を実施し、雇用促進を図った。
- ・ 求職者向け就労支援事業を行った。
- ・ 勤労者等に向けた労働相談等事業を行った。
- ・ 若者・女性の就労支援に向けた事業を行った。
- ・ 労政全般に係る庶務的業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,216	5,216	3,959		1,257
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 2人		2,057	1,338
8節	労働法律相談報償費		204	204
9節	事務補助嘱託員費用弁償		205	100
11節	消耗品費		78	78
	印刷製本費		30	29
12節	雇用対策セミナー実施広告料		158	157
13節	雇用対策セミナー実施委託料		248	163
	就労困難若年者支援委託料		486	486
	就労困難若年者家族カウンセリング委託料		389	130
	メンタルヘルスカウンセリング委託料		130	129
	求職カウンセリング委託料		216	130
	労働相談業務委託料		324	324
	女性就労応援セミナー実施委託料		65	65
14節	ファクシミリ賃借料		13	13
19節	湘南合同就職面接会実行委員会負担金		130	130
	県駐労福祉センター運営費補助金		33	33
	労働祭補助金		300	300
	鎌倉地区勤労者体育大会補助金		150	150

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○働く環境の充実

勤労者福利厚生事業

【 産業振興課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 働く環境の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者

意図 勤労者のために融資預託、その他の支援を行うため。

効果 勤労者の生活環境向上及び福祉の増進

【 事業の内容 】

- ・ 勤労者退職金共済機構等との新規契約者に掛金の一部補助を行った。
- ・ 福利厚生事業を行う労働団体に補助金を交付した。
- ・ 市内に居住、勤務している勤労者の生活の安定と福利厚生を増進を図るため、勤労者生活資金融資を実施する中央労働金庫に資金を預託した。

鎌倉市勤労者生活資金融資利用状況

	新規貸出(28.4~29.3)		貸出残高(29.3末現在)	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
生活資金	20	30,580,000	80	72,196,357

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
31,421	31,421	30,744		677
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
19節	中小企業退職金共済掛金補助金		891	214
	三浦半島地域労働者福祉協議会補助金		530	530
21節	中央労働金庫預託金		30,000	30,000

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○働く環境の充実

勤労者福祉支援事業

【 産業振興課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 働く環境の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者

意図 湘南勤労者福祉サービスセンターの活動を支援するため。

効果 勤労者の福利厚生の実現

【 事業の内容 】

- ・ 中小企業勤労者の福利厚生の実現を目的として事業を行う湘南勤労者福祉サービスセンターへ負担金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
24,944	24,944	24,450		494

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

19節 湘南勤労者福祉サービスセンター運営事業費負担金

24,944

24,450

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○技能振興の充実

技能振興事業

【 産業振興課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 技能振興の充実

【 事業の目的 】

対象 技能職者

意図 技能職者の技術水準の向上や、社会的地位の向上を図るため。

効果 技能振興を図る。

【 事業の内容 】

- ・技能功労者等の表彰、技能祭の共催及び技能職団体連絡協議会の活動を支援することにより、技能振興を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
572	572	440		132
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	技能者表彰選考委員会委員報酬 6人		30	18
8節	技能者表彰記念品等報償費		170	85
11節	消耗品費		30	13
13節	技能祭機材運搬業務委託料		72	54
19節	技能職団体連絡協議会補助金		270	270

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

市民活動部産業振興課(勤労者福祉担当)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	25,903	18,774
・ 2節 給料 一般職 一般職職員 2人	12,196	9,120
・ 3節 職員手当等	9,223	6,561
扶養手当	524	168
地域手当	1,908	1,393
通勤手当	278	241
超過勤務手当	393	474
休日給	0	54
期末勤勉手当	5,223	3,996
住居手当	597	235
児童手当	300	0
・ 4節 共済費 市町村職員共済組合負担金	4,484	3,093

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 5 農業委員会費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

農業委員会事務

【 農業委員会事務局 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 農業従事者等

意図 農地法等に基づく農地問題の公正円滑な処理、農地の農業上の利用増進、農業経営の合理化を行うため。

効果 鎌倉市に適した都市農業を目指す。

【 事業の内容 】

- ・ 農業委員会委員報酬の執行、遊休農地解消対策事業の実施など農業委員会に関する事務事業を行った。
- ・ 農地管理システムを運用し、市内農地について農地法に基づく適正な管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,182	8,182	7,541		641
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
1節 農業委員会委員報酬 15人			6,264	5,892
8節 農業委員選考委員会委員等報償費			109	5
9節 農業委員費用弁償			70	16
事務局職員普通旅費			67	32
10節 農業委員会交際費			1	0
11節 遊休農地解消対策事業等消耗品費			288	269
13節 農地管理システム地図データ変換業務委託料			55	0
14節 農地管理システム使用料			1,320	1,319
19節 農業委員会職員事務研究会会費負担金			8	8
<主な特定財源>				
・国県支出金				979

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 10 農業水産業総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

市民活動部産業振興課(農水担当)

農業委員会事務局

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	65,611	58,528
・ 2節 給料 一般職	29,780	27,369
一般職職員 8人		
・ 3節 職員手当等	24,801	21,855
扶養手当	1,343	757
地域手当	4,817	4,367
通勤手当	864	368
超過勤務手当	1,275	1,526
管理職手当	987	986
期末勤勉手当	13,213	11,968
住居手当	1,182	1,243
児童手当	1,120	640
・ 4節 共済費	11,030	9,304
市町村職員共済組合負担金	11,025	9,303
雇用保険料	5	1

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

農業振興運営事業

【 産業振興課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 農業従事者等

意図 農業施策上必要な協議調整や事業を行い、農業経営の安定と農産物の安定供給を図るため。

効果 農業経営の安定と農産物の安定供給

【 事業の内容 】

- ・ 農業者・関係団体等から組織する協議会において、鎌倉の農業振興について協議・検討を行った。
- ・ さがみ農業協同組合に鎌倉ブランド事業や秋の収穫まつり事業などに係る補助金を交付し、農業の振興を図った。
- ・ 植木剪定材を利用し、農業に適した堆肥を作成・販売することにより、堆肥の利用を促進し、化学肥料の使用量を削減し、環境保全型農業を推進した。
- ・ 人・農地プラン(地域農業マスタープラン)に基づく、農業の担い手の確保、遊休農地の解消及び国の施策に基づく担い手の育成・支援のための制度の円滑な運用を図った。
- ・ 農業振興地域の整備に関する法律に基づき策定した農業振興地域整備計画の見直しに必要な基礎調査等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,917	9,735	6,809		2,926
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	農業委員選考委員会委員報酬 4人		0	42
7節	臨時的任用職員賃金		805	675
8節	鎌倉市農業振興協議会委員等報償費		245	113
11節	消耗品費		85	36
13節	鎌倉ブランド堆肥パッキング等委託料		2,484	1,341
	農業振興地域整備計画見直し業務委託料		1,996	1,825
	地産地消推進パンフレット作成委託料		93	93
19節	農業関係団体負担金		198	198
	農業振興事業費補助金		2,450	2,450
	新規就農者確保支援事業交付金		1,500	0
	環境保全型農業直接支援事業交付金		25	0
	農業経営基盤強化資金利子補給金		36	36

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

市民農園事業

産業振興課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 市民

意図 市民が野菜及び草花の栽培を通じて自然と触れ合い、農業への親しみ及び理解を深める機会を提供するため。

効果 市民が農作業を行うことにより、農業への理解が得られるとともに、農地のレクリエーション機能の活用が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 大船地区市民農園について、引き続き維持管理を行った。
- ・ 土地所有者が開設する市民農園の相談や支援を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
787	787	761		26
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
8節	市民農園耕作指導報償費		514	504
13節	市民農園草刈等業務委託料		273	257

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

水産業振興運営事業

【 産業振興課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 水産関係団体との連携を図るとともに、栽培漁業の推進などにより、漁業経営の安定化を図り、地域に即した漁業の振興を図るため。

効果 つくり育てる漁業の推進を支援することにより、水産業の振興を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 漁業協同組合への補助金の交付、各種水産関連団体への参加等により、水産業の振興を図った。
- ・ 漁業者・関係団体等で組織する協議会において、鎌倉の水産業振興について協議・検討を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,547	2,547	1,865		682
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	鎌倉市水産業振興協議会委員報償費		168	30
11節	消耗品費		79	35
19節	神奈川県水難救済会等負担金		300	300
	漁業施設等災害見舞金		500	0
	鎌倉漁業協同組合事業費補助金		1,000	1,000
	腰越漁業協同組合事業費補助金		500	500

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

漁港施設管理事業

【 産業振興課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 腰越漁港施設の良好な維持管理を行うため。

効果 円滑な漁業活動の推進を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 漁港施設維持運営計画に基づき、漁港施設の維持管理を行った。
- ・ 腰越海岸の飛砂防止のための海浜整地業務や、必要な漁業施設整備等を行った。
- ・ 腰越漁港1号泊地の浚渫に向けて工法等の検討を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,276	3,773	3,708		65
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
11節 漁港施設等維持修繕料			500	997
13節 漁業施設整備検討業務委託料			972	918
腰越海岸海浜整地業務委託料			1,804	1,793

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

鎌倉地域漁港対策事業

【 産業振興課 】

※重点事業(事業CD:6-1-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 鎌倉地域の漁港建設について検討するとともに、漁業者の就労環境の改善、漁船の安全確保、台風等の災害対策などの当面の支援策を実施するため。

効果 当面の支援策の実施により、鎌倉地域における漁業の安全性の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 将来的な漁港整備について検討した。
- ・ 台風等の災害対策や漁業者の就労環境の改善を図るための支援施設を整備するにあたり、設置位置確定に向けた調査等を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,332	9,035	8,597		438
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節	地形変化予測・周辺影響調査委託料		7,852	0
	支援施設整備支援業務委託料		6,480	0
	支援施設整備支援業務等委託料		0	8,597

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 5 商工総務費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商工運営事業

【 観光商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 事業者等

意図 商工業の振興、物産振興を図るため。

効果 産業の維持、発展と活力あるまちの創出が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 商工事務事業に係る庶務的業務を行った。
- ・ 萩市、上田市、足利市及び鎌倉市の特産品を一堂に集め、それぞれの物産と観光を市民に紹介する姉妹都市物産展を開催した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,792	2,792	2,507		285
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 2人		2,057	1,971
8節	指導助言等謝礼		100	0
9節	事務補助嘱託員費用弁償		51	43
11節	消耗品費		113	31
13節	姉妹都市物産展開催準備等委託料		471	462

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 5 商工総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

経営企画部市民相談課(消費生活担当)

市民活動部観光商工課(商工担当)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	56,995	47,787
・ 2節 給料 一般職	26,383	22,020
一般職職員 6人		
再任用(短時間) 1人		
・ 3節 職員手当等	20,499	17,248
扶養手当	985	587
地域手当	4,253	3,539
通勤手当	929	799
超過勤務手当	1,250	1,316
管理職手当	987	986
期末勤勉手当	11,252	9,347
住居手当	603	489
児童手当	240	185
・ 4節 共済費	10,113	8,519
市町村職員共済組合負担金	9,210	7,685
社会保険料	807	800
雇用保険料	96	34

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

中小企業支援事業

【 観光商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 中小企業者等

意図 市内の中小企業者の健全な発展及び振興を図るため。

効果 安定的な事業経営・新規事業展開の実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・市の制度融資を実行するための原資となる資金を金融機関へ預託した。
- ・制度融資を利用した際に支払う信用保証料について、その一部を補助することにより、負担の軽減を図った。
- ・経営安定資金融資の利用者に支払利子相当額の一部を補助し、負担の軽減を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
511,200	510,200	508,033		2,167
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
19節	信用保証料補助金 129件		10,200	7,555
	経営安定資金融資利子補給金 27件		1,000	478
21節	中小企業融資預託金		500,000	500,000
	預託先 4金融機関			
	融資件数 98件			
	融資金額 409,300千円			

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商工会議所助成事業

【 観光商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 事業者等

意図 事業者等の安定的な経営を確保し、商工業の振興と総合的な改善・発達を図るため。

効果 市内中小企業者の経営安定を確保し、商工業の振興と総合的な改善・発達を図ることにより、地域産業の振興と活力あるまちの創出を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 商工業の総合的な改善・発達と社会一般の福祉の増進を目的とする商工会議所の運営及び事業に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,667	14,667	14,667		0
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
19節 商工会議所運営費補助金			6,935	6,935
商工業振興事業等補助金			553	553
中小企業経営支援事業補助金			7,179	7,179

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商店街振興事業

観光商工課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 商店街等

意図 商店街が行う各種事業に対して支援を行い、商店街の活性化を図るため。

効果 商店街を支援することにより、まちの活性化と地域産業の振興の実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・鎌倉市商店街連合会の組織強化と活性化を支援した。
- ・専門家の助言を必要とする商店街に対してアドバイザーを派遣し、助言・指導を行った。
- ・商店街団体の街路灯及び電飾アーチの電気料金の一部を助成した。
- ・商店街団体が実施する売上の増加が見込まれる事業、地域住民との交流が見込まれる事業等に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,940	12,908	10,293		2,615

< 支出内訳 >

	当初予算額	支出済額
8節 商店街アドバイザー謝礼	100	25
19節 商店街連合会補助金	1,710	1,710
商店街街路灯等維持管理費補助金	7,000	5,512
商店街活性化事業費補助金	4,130	3,046

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商工業振興事業

【 観光商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 産業振興
 施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 商工業者、商店街団体等

意図 商工業者や商店街団体が事業展開しやすい環境を整備するとともに、中小企業の経営革新を支援するため。

効果 商工業の持続的な発展と、活力あるまちの創出を図る。

【 事業の内容 】

- ・地域の資源を活用して創業する事業や新しい商品・技術の開発、サービスの提供を行う事業に要する経費の一部を助成した。
- ・市内事業者が情報発信・交流することができるサイトを運営した。
- ・公益財団法人神奈川産業振興センターが実施する経営アドバイザー派遣事業の利用者が支払う費用の一部に対する助成については、申請がなかった。
- ・商業団体が実施する共同施設の設置に要する経費の一部を助成した。
- ・企業が地球環境との共存・共生を図るための施設整備事業及び中小企業者が実施する産業財産権取得事業に要する経費の一部を助成した。
- ・前年度からの繰越明許費により、企業が実施する企業活動拠点整備事業に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,230	37,262	30,228		7,034
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	商工業元気アップ事業選定委員会委員報酬 3人		47	32
	企業活動拠点整備事業選定委員会委員報酬 2人		0	22
8節	商工業元気アップ事業フォローアップ診断謝礼		50	50
13節	事業者情報発信・交流サイト運営委託料		778	778
19節	商工業元気アップ事業費補助金		2,000	1,772
	経営アドバイザー派遣事業補助金		81	0
	商業振興共同施設設置費補助金		1,964	1,768
	環境共生事業(企業施設整備事業)等補助金		2,310	2,100
	企業活動拠点整備事業費補助金(前年度からの繰越明許費)		0	23,706
<主な特定財源>				
	・国県支出金			23,706

公衆浴場助成事業

観光商工課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 公衆浴場業者

意図 公衆浴場の健全な運営を支援し、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上に努めるため。

効果 公衆浴場業者を支援することにより、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上・増進に繋がり、
更には地域におけるコミュニティの場の創出を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 公衆浴場を確保するため、一定の要件を満たす公衆浴場の用水費、燃料費及び光熱費の一部を助成した。
- ・ 公衆浴場の設備の整備に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
685	685	550		135
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
19節	公衆浴場確保対策事業費補助金		236	236
	公衆浴場設備整備費補助金		449	314

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

伝統鎌倉彫振興事業

観光商工課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 伝統鎌倉彫事業協同組合

意図 鎌倉で唯一「伝統的工芸品」として指定されている鎌倉彫の高度な技術の伝承と地場産業としての振興を図るため。

効果 伝統鎌倉彫事業協同組合が行う各種事業を支援することにより、鎌倉彫産業の振興を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉彫振興事業所の維持管理を行った。
- ・ 伝統工芸品産業の振興を図る団体に加入し、情報収集を図った。
- ・ 伝統鎌倉彫事業協同組合が行う鎌倉彫創作展、小・中学生の体験教室等に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,434	3,434	2,936		498
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	鎌倉彫振興事業所光熱水費		535	418
	鎌倉彫振興事業所維持修繕料		200	0
12節	鎌倉彫振興事業所消防用設備保守点検手数料		25	24
13節	鎌倉彫振興事業所警備委託料		127	127
	鎌倉彫リーフレット作成委託料		566	386
19節	伝統的工芸品産業振興協会負担金		40	40
	伝統鎌倉彫振興事業補助金		1,941	1,941

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 15 消費生活対策費

◎消費者対策 ○消費者施策の推進

消費者自立支援事業

【 市民相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 消費者対策
 施策の方針 消費者施策の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 消費者被害を未然に防ぐなどの啓発を行うとともに、商品・サービスの購入に係る苦情を受けるため。

効果 消費者被害防止、食の安全などの情報を市民に向けて伝え、また消費者の苦情相談に対し、あっせん、助言、調停などを通じ被害の救済を図ることができる。

【 事業の内容 】

- ・消費者被害を未然に防ぐため、消費生活講座、移動教室や広報紙への掲載などによる啓発を行った。
- ・消費生活相談員による消費生活に関する苦情相談、助言を行った。なお、消費生活紛争調停委員会の調停に付する案件はなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,865	14,865	13,637		1,228
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	消費生活相談員報酬 122人		11,710	11,295
	消費生活委員会委員報酬 7人		164	72
	消費生活紛争調停委員会委員報酬		90	0
8節	移動教室、講座講師等謝礼		475	435
	消費生活相談員助言報償費		300	300
9節	消費生活相談員費用弁償		1,390	891
11節	消耗品費		175	120
	印刷製本費		207	175
12節	電信料		37	37
13節	消費生活相談員助言委託料		300	300
19節	消費生活相談員研修負担金		17	12
<主な特定財源>				
	・国県支出金			3,433

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 5 観光総務費

◎観光 ○地域が一体となった観光振興の推進

観光運営事業

観光商工課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 観光
施策の方針 地域が一体となった観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 「住んでよかった、訪れてよかった」まちづくりに取り組むため。また、他の自治体と連携し、広域的な観光客誘致を行うため。

効果 観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感が得られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・三浦半島観光連絡協議会などの関係団体、協議会と連携し、誘客キャンペーンやパンフレットの作成などの広域観光宣伝や情報交換等を行った。
- ・第3期鎌倉市観光基本計画の推進及び進行管理を行った。
- ・観光施策の推進に必要な経費に充てるため、寄附金による収入確保を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,465	6,465	4,753		1,712
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 2人		3,085	2,056
	鎌倉市観光基本計画推進委員会委員報酬		100	0
7節	臨時的任用職員賃金		736	556
9節	事務補助嘱託員等費用弁償		302	43
11節	消耗品費		200	195
13節	寄附金収納代行業務委託料		162	23
19節	三浦半島観光連絡協議会負担金		1,000	1,000
	神奈川県観光振興対策協議会負担金		210	210
	富士箱根伊豆国際観光テーマ地区神奈川県協議会負担金		200	200
	鎌倉藤沢観光協議会負担金		180	180
	東大寺サミット負担金		150	150
	神奈川県観光協会負担金		90	90
	北条五代観光推進協議会負担金		50	50

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 5 観光総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

市民活動部観光商工課(観光担当)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	43,164	50,310
・ 2節 給料 一般職 一般職職員 6人	17,236	19,928
・ 3節 職員手当等	19,197	22,805
扶養手当	603	1,102
地域手当	2,824	3,302
通勤手当	590	654
超過勤務手当	5,906	6,428
休日給	0	172
管理職手当	987	986
期末勤勉手当	7,691	8,859
住居手当	236	802
児童手当	360	500
・ 4節 共済費 市町村職員共済組合負担金	6,731	7,577

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○観光都市としての質の向上

観光振興事業

【 観光商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 観光都市としての質の向上

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 多様な観光プログラムと最新の観光情報を提供するとともに、市民・事業者のホスピタリティの向上と観光客のモラルの向上を図るため。

効果 観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感が得られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・かまくら四季のみどころや観光マップ等の充実を図り、観光客への適切な情報提供を行った。
- ・外国人観光客の増加に対するインバウンド対策として、外国語ガイド活動の支援を強化した。
- ・東大寺サミットを開催し、東大寺建立に関わった市町村との連携を深めるとともに、本市の歴史的、文化的価値について発信した。
- ・前年度からの繰越明許費により、国の地方創生加速化交付金を活用し、光の波プロジェクトを実施した。
- ・前年度からの繰越明許費により、国の地方創生加速化交付金を活用し、観光マイレージアプリ制作活用事業を支援した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,701	29,009	24,485		4,524
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
11節	四季のみどころ印刷製本費		1,679	1,243
	課外授業ガイド印刷製本費		438	243
13節	四季のみどころ編集業務委託料		1,270	1,160
	観光マップ「鎌倉」作成業務委託料		1,215	0
	外国語版パンフレット作成業務委託料		2,949	2,103
	観光情報発信業務委託料		200	0
	光の波プロジェクト企画演出業務委託料(前年度からの繰越明許費)		0	4,930
	光の波プロジェクト警備業務委託料(前年度からの繰越明許費)		0	500
	光の波プロジェクトチラシ等作成業務委託料(前年度からの繰越明許費)		0	47
19節	外国語ガイド活動支援事業負担金		1,100	1,100
	東大寺サミット開催市負担金		3,424	2,733
	飲食店メニュー多言語化事業負担金		276	276
	観光案内図作成事業負担金		150	150
	観光マイレージアプリ制作・活用事業補助金(前年度からの繰越明許費)		0	10,000
<主な特定財源>				
	・国県支出金			15,477

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○安全で快適な観光空間の整備

観光案内所運営事業

【 観光商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 安全で快適な観光空間の整備

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光案内業務を通じて観光客の利便性を高めるため。

効果 観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感が得られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ JR鎌倉駅構内東口の観光案内所の運営を委託し、観光客に対し適切な情報提供を行った。
- ・ 観光案内所を駅舎正面付近に移設し、機能を向上させるとともに観光客の利便性を高めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,375	15,101	14,818		283
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
8節	弁護士相談報償費		0	40
11節	消耗品費		800	256
	維持修繕料		898	497
12節	観光案内所電信料		110	119
13節	観光案内所業務委託料		10,490	12,394
	旧観光案内所廃棄物処理委託料		45	0
	デジタルサイネージ及びタブレット端末設置等業務委託料		0	469
14節	新観光案内所ブース等賃借料		972	1,000
19節	観光案内所電気使用料負担金		60	43
<主な特定財源>				
	・ 国県支出金			82

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○安全で快適な観光空間の整備

観光施設整備事業

観光商工課

※重点事業(事業CD:6-2-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 観光
施策の方針 安全で快適な観光空間の整備

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光基盤施設を整備し、観光客が安全で快適に観光できるようにするため。

効果 観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感が得られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・観光案内板等の新設・改修・修繕を行った。
- ・公衆トイレの修繕・改修を行い、清潔で快適な空間確保に努めると共に、ハイキングコースの安全の確保を行った。
- ・東京オリンピック・パラリンピックの開催を視野に入れ、訪日外国人の利便性向上を目指し、屋外型Wi-Fi接続設備の増設・維持管理を行った。
- ・民間が行う公衆トイレの新設に補助金を交付し、観光客の利便性を高めた。
- ・前年度からの繰越明許費により、鶴岡八幡宮裏公衆トイレ修繕設計業務委託を行った。
- ・妙本寺公衆トイレの改修工事を行ったが、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
98,864	96,634	65,165	28,610	2,859
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		67	52
	光熱水費		1,600	1,062
	公衆トイレ等維持修繕料		2,000	2,112
12節	公衆トイレし尿処理手数料		1,700	1,258
	備品倉庫消防設備点検手数料		13	13
13節	観光案内板作成委託料		2,059	500
	ハイキングコース整備業務等委託料		1,000	292
	大仏前駐車場公衆トイレ清掃委託料		1,067	947
	由比ガ浜大通り公衆トイレ清掃委託料		237	213
	妙本寺公衆トイレ改築工事監理業務委託料(翌年度への繰越明許費)		1,858	0
	屋外型Wi-Fi接続設備設置業務委託料		11,958	8,318
	屋外型Wi-Fi接続設備保守業務委託料		1,657	713
	鶴岡八幡宮裏公衆トイレ修繕設計業務委託料(前年度からの繰越明許費)		0	1,814
	ライブカメラ設置等業務委託料		0	999
	鶴岡八幡宮休憩所横公衆トイレ漏水調査業務委託料		0	99
	鎌倉市市有地草刈等委託料		0	95
	鎌倉駅東口公衆トイレ前案内板設置委託料		0	22
14節	由比ガ浜大通り公衆トイレ賃借料		1,102	1,102
	屋外型Wi-Fi接続設備に係るインターネット回線使用料		0	598
	屋外型Wi-Fi設備に係るプロバイダ等使用料		0	139
15節	妙本寺公衆トイレ改築工事請負費(翌年度への繰越明許費)		41,008	14,256

19節	ハイキングコースパトロール事業負担金	225	225
	公衆トイレ電気・水道使用料負担金	492	327
	妙本寺公衆トイレ水道加入負担金	820	0
	鎌倉市Wi-Fi接続設備の設置に伴う電気使用料等負担金	0	17
	鎌倉市公衆便所建設工事費等補助金	30,000	29,992
22節	道路等補償金	1	0

<主な特定財源>

・国県支出金	12,080
--------	--------

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○地域が一体となった観光振興の推進

観光振興支援事業

観光商工課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 地域が一体となった観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光事業者、観光団体、市民・市民団体など様々な観光主体が一体となり、地域全体で観光振興をするため。

効果 観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感が得られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

・鎌倉花火大会、鎌倉ビーチフェスタ、俳句&ハイクなどに負担金を交付し、本市の観光振興を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,069	12,069	12,069		0
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
19節	鎌倉花火大会実行委員会負担金		5,734	5,734
	主要観光行事安全対策負担金		4,750	4,750
	鎌倉ビーチフェスタ事業負担金		1,045	1,045
	俳句&ハイク事業負担金		540	540

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○地域が一体となった観光振興の推進

観光協会支援事業

観光商工課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 地域が一体となった観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 鎌倉市観光協会・観光客等

意図 様々な観光主体のネットワークの中心となり、観光宣伝と観光客誘致を行う鎌倉市観光協会を支援するため。

効果 観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感が得られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

・ 鎌倉市観光協会の運営や鎌倉まつり、薪能等の実施事業に対する支援を行い、本市の観光振興を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
48,726	48,727	48,726		1
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
12節	裁判所許可申立申請手数料		0	1
19節	鎌倉市観光協会運営費等補助金		48,726	48,725

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 15 海水浴場費

◎観光 ○安全で快適な観光空間の整備

海水浴場運営事業

観光商工課

※重点事業(事業CD:6-2-2-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 安全で快適な観光空間の整備

【 事業の目的 】

対象 海水浴客等

意図 海水浴場の公衆衛生、危険防止及び秩序保持を図るため。

効果 海水浴客にとっては、安全に海水浴を楽しむことによる満足感が得られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ 海水浴場開設に必要な電気・水道・放送設備やコースロープを整備した。
- ・ なぎさの整地、監視業務等を実施し安全確保を図った。
- ・ 安心して快適な海水浴場を実現するため、警備員の配備や啓発看板の設置を行った。
- ・ 誰もが楽しめる海水浴場を目指し、障害者用仮設トイレを設置した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
60,868	60,868	59,479		1,389
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		270	132
	燃料費		19	0
	印刷製本費		112	33
	光熱水費		15	9
12節	電信料		141	110
13節	海水浴場監視業務等委託料		27,920	27,920
	砂防柵設置・撤去及びなぎさ整地業務委託料		5,379	5,292
	放送設備及び放送塔設置委託料		1,979	1,979
	コースロープ設置委託料		1,429	1,428
	仮設木橋設置等委託料		1,728	1,728
	防犯灯及び監視所電灯配線設置等委託料		1,881	871
	看板作成委託料		564	0
	海水浴場巡回警備業務委託料		12,939	12,901
	海水浴場水道管敷設等委託料		0	605
	海水浴場開き式会場設営等委託料		0	162
	海水浴場関連廃棄物処理委託料		0	44
14節	監視所・仮設トイレ等賃借料		5,724	5,919
	障害者用仮設トイレ賃借料		266	0
19節	海水浴場監視業務用電気・水道使用料負担金		502	346

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費
 ◎防災・安全 ○地震対策・風水害対策の充実

がけ地対策事業

【 総合防災課 】

※重点事業(事業CD:5-1-1-5)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 防災・安全
 施策の方針 地震対策・風水害対策の充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民の保護を図るため。

効果 防災工事を施工し市民の保護を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 既成宅地におけるがけ崩れや土砂の流出等による災害の発生を防ぐため、防災工事費及び伐採工事費の一部を助成した。
- ・ 急傾斜地崩壊危険区域の指定の促進を図り、県が行う急傾斜地防災工事事業費の約2割を負担した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
90,948	83,948	77,230		6,718
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 2人		2,057	2,056
9節	事務補助嘱託員費用弁償		300	110
11節	消耗品費		62	61
19節	急傾斜地防災工事負担金		54,020	48,651
	神奈川県治水砂防協会等負担金		229	229
	既成宅地等防災工事費補助金		34,000	25,915
	既成宅地等防災工事費利子補給金		50	0
21節	既成宅地等防災工事費融資預託金		230	208

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎防災・安全 ○危機管理対策

放射性物質測定事業

【 浄化センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 危機管理対策

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 放射性物質の測定を行い、市民生活の安全を図るため。

効果 給食食材等の放射性物質の測定を行うことにより、市民生活の安全を確保する。

【 事業の内容 】

・学校や保育園の給食食材等の放射性物質を測定した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,385	4,385	3,769		616
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
7節	放射性物質測定事務臨時的任用職員賃金	2,289	2,145	
11節	放射性物質測定用消耗品費(液体窒素等)	520	512	
	放射性物質測定装置修繕料	1,219	756	
13節	放射性物質測定装置点検委託料	357	356	

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道(水)路調査事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全な市民生活の基礎となる道水路整備を的確に行うための道水路の境界確定を行うほか、狭あい道路を拡幅整備することにより、防災・交通等都市機能の向上を図るため。

効果 道水路との境界が未確定の箇所をなくし、市内全域の道路・水路の管理区域を確定することでの的確な整備・管理を行うとともに、道路の後退用地を確保し、拡幅することで、安全で住みよいまちを実現する。

【 事業の内容 】

- ・境界確定申請に基づき現地調査を実施した。測量委託業者を選定し、土地所有者との立会を行い境界の確定後、境界確定図を作成した。
- ・市道の狭あい道路拡幅整備事業の申請を受け、測量業務を行い、道路用地を取得した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
69,801	69,801	57,059		12,742
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 2人		2,057	2,056
7節	土地境界確定図交付事務等臨時的任用職員賃金		1,196	1,180
9節	事務補助嘱託員費用弁償		180	118
11節	消耗品費		195	195
	印刷製本費		1	0
13節	境界確定立会等業務委託料		36,450	34,811
	境界立会93回、打合協議23回、石標埋設8本、金属標埋設15枚			
	4級基準点測量(伐採なし)4,907.9m及び232点、同(伐採あり)168.4m			
	及び14点、境界点測量666点、確定図作成97,680.6㎡外			
	狭あい道路拡幅整備事業境界確定立会等業務委託料		12,050	6,399
	境界立会20回、打合協議2回、石標埋設1本、金属標埋設19枚			
	4級基準点測量(伐採なし)462.3m及び37点、同(伐採あり)0m及び0点			
	境界点測量110点、確定図作成16,920.9㎡外			
14節	電子複写機賃借料		383	382
16節	境界確定用境界杭等原材料費		696	696
17節	狭あい道路拡幅用地等購入費		15,000	9,872
	道路用地購入費		1,593	1,350
<主な特定財源>				
	・国県支出金			3,174

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路台帳整備事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 道路整備
 施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路法で調製及び保管が義務付けられている道路台帳の整備を行い、道路管理上の基礎的
 事項を総括して把握するため。

効果 良好な道路管理が可能となり、住民サービスの向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 道路状況の経年変化に伴う道路台帳の補正や認定路線網図の補正を行った。
- ・ 亡失や位置ずれ等が生じた既存境界点や基準点の復元等及び開発等における境界点の設置を行った。
- ・ 道路及び水路等の境界確定図等を管理・交付するための土地境界確定図システムを運用した。
- ・ 境界復元や開発等の境界設置に使用する境界杭等を購入した。
- ・ 地籍調査事業(官民境界等先行調査)により、道路・水路等の官有地と民有地との境界確定を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
69,437	67,060	62,417		4,643
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
7節	法定外公共物等所管事務等臨時的任用職員賃金		2,564	2,432
13節	境界杭復元等業務委託料		29,010	28,163
	4級基準点測量4,437.2m及び316点、石標埋設復元102本			
	金属標埋設復元117枚、金釘埋設復元307本			
	境界点復元測量605点、地形測量6,493.1㎡、検査探索2,381点外			
	道路台帳補正及び認定路線網図作成等業務委託料		10,249	10,228
	基準点機能回復測量業務委託料		983	626
	土地境界確定図管理システム保守業務委託料		1,206	1,206
	地籍調査事業測量等業務委託料		21,634	16,124
14節	土地境界確定図管理システム賃借料		3,118	2,971
16節	境界杭等原材料費		673	667
<主な特定財源>				
	・ 国県支出金			12,098

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路施設管理事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 道路整備
 施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路機能を良好に保持するため。

効果 多様化する生活環境や市民等の安全性・快適性の向上を図るため、常に良好で円滑な道路機能の保持を図る。

【 事業の内容 】

・道路利用者の安全性・快適性を保ち良好で円滑な道路機能を保持するための業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
103,542	107,260	96,076		11,184
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		396	396
	燃料費		1	0
	光熱水費		9,636	7,723
	道路管理施設維持修繕料		2,028	1,891
12節	電信料		394	393
	路上放置自動車リサイクル手数料		15	0
	道路賠償補償保険料		853	853
13節	道路維持業務委託料		16,133	8,882
	鎌倉駅通抜地下道清掃業務委託料		285	233
	鎌倉駅通抜地下道排水設備ポンプ制御盤装置保守点検及び水槽清掃業務委託料		148	147
	鎌倉駅通抜地下道排水ポンプ・ディーゼルエンジン保守点検業務委託料		50	50
	看板作成業務委託料		195	194
	路上放置自動車処理業務委託料		10	0
	大船駅監視設備保守管理業務委託料		648	648
	大船駅管理施設警備監視業務委託料		15,689	12,036
	大船駅ペDESTリアンデッキ等清掃業務委託料		3,377	3,078
	大船駅エレベーター等設備保守管理業務委託料		9,277	9,277
	北鎌倉隧道の通行禁止に伴う歩行者誘導業務委託料		0	7,212
14節	大船駅西口ペDESTリアンデッキ用地賃借料		1,542	1,542
	大船駅西口公共広場用地賃借料		40,639	40,639
19節	神奈川県道路利用者会議等負担金		225	225
22節	仮復旧等補償金		1	0
	道路事故賠償金		2,000	657

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

街路照明灯事業

道水路管理課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活を送れるまち
分野 道路整備
施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 夜間等の通行車両や市民等の安全確保のため。

効果 道路の街路照明灯の良好な維持管理を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 既存の街路照明灯の維持修繕等を行い、市民が安全な生活を送れるまちづくりを図った。
- ・ 安全な通行を確保するために街路照明灯の設置整備を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
28,610	28,610	21,486		7,124
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	市内街路照明灯電気料		20,908	14,004
	街路照明灯維持修繕料		2,833	2,806
13節	街路照明灯設置業務委託料		300	108
14節	LED街路照明灯賃借料		4,569	4,568

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

防災安全部総合防災課(がけ地対策担当)

都市調整部(都市調整課風致担当を除く)

都市整備部のうち都市整備総務課・道水路管理課・建築住宅課(住宅担当を除く)・作業センター

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	819,647	797,306
・ 2節 給料 一般職	381,598	374,413
一般職職員 94人		
再任用(短時間) 8人		
・ 3節 職員手当等	300,142	293,154
扶養手当	13,186	13,338
地域手当	60,979	59,918
通勤手当	11,906	10,219
超過勤務手当	19,900	17,939
休日給	139	127
管理職手当	11,714	11,646
特殊勤務手当	214	1
期末勤勉手当	161,352	161,440
住居手当	15,567	14,411
児童手当	5,185	4,115
・ 4節 共済費	137,907	129,739
市町村職員共済組合負担金	136,556	127,977
社会保険料	1,069	1,652
雇用保険料	282	110

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

土木管理運営事務

【 都市整備総務課 】

※重点事業(事業CD:0-2-1-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方

分野 行財政運営

施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 部内各課

意図 事務事業の円滑な執行を行うため。

効果 事務事業の進行管理及び連絡調整を行うことにより、安全で快適な生活環境の整備を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 部内の一般会計に係る予算要求、執行管理、決算・監査に関する事項を行った。
- ・ 旅費及び郵便料の執行管理、工事の進行管理など部内の庶務を行った。
- ・ インフラに係る官民連携手法導入の可能性についての調査検討等を行った。
- ・ 鎌倉市社会基盤施設マネジメント計画に基づき、鎌倉市社会基盤施設管理方針の策定を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,311	11,593	10,705		888

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
11節 一般文具等消耗品費	115	68
13節 鎌倉市社会基盤施設管理方針策定業務委託料	15,196	9,590
土木積算総合システムに係るハードディスク設置業務委託料	0	1,047

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

作業センター事業

【 作業センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方
 分野 行財政運営
 施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民の安全性、利便性、快適性への迅速な対応を確保するため。

効果 安全で円滑な交通の確保、親しみやすい河川・緑地等の形成を図る。

【 事業の内容 】

・道路、河川、緑地等の維持補修及び側溝、管水路のしゅんせつを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
138,055	138,055	115,485		22,570
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
11節 補修用消耗品費			1,507	1,436
作業用車両燃料費			2,974	1,324
印刷製本費			5	0
光熱水費			134	88
道路管理施設等維持修繕料			23,580	22,746
備品修繕料			581	92
作業用車両修繕料			4,000	3,303
医薬材料費			38	36
12節 電信料			612	370
13節 上町屋資材置場警備委託料			100	100
残土処分委託料			3,867	1,879
カーブミラー設置業務委託料			4,730	1,717
高圧洗浄による排水管渠等しゅんせつ清掃業務委託料			10,681	10,272
道路側溝等しゅんせつ汚泥運搬処分業務委託料			5,927	3,715
道路・河川清掃等業務委託料			45,144	33,119
14節 維持補修用重機賃借料			4,056	4,017
FAX付コピー機賃借料			127	39
16節 補修用原材料費			29,097	30,543
18節 補修用備品購入費			582	372
22節 補修等補償金			1	0
賠償金			0	6
27節 自動車重量税			312	311
*補修用原材料費内訳	アスファルト合材	359.1t	13,956千円	
	常温合材	100袋	292千円	
	カーブミラー部材	71面	4,749千円	
	グレーチング蓋	307枚	4,252千円	
	U型側溝蓋等	150枚	594千円	
	生コンクリート他	1式	6,700千円	

*補修班による維持補修

アスファルト合材舗装工	375m ²
アスファルト舗装打換工	862m ²
排水溝等新設工	5m
カーブミラー新設・補修工	215件

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

設計事務

【 建築住宅課 】

※重点事業(事業CD:0-2-1-4)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方
分野 行財政運営
施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全・快適な施設利用の促進及び維持管理費用(ランニングコスト)削減を図るため。

効果 安全・快適な施設利用、経済的な施設管理及び建物の長寿命化を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 建築積算システム機器の賃借及び保守を行った。
- ・ 耐震化未対応である市有建築物の耐震改修設計業務を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,345	13,039	12,867		172
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	設計業務等補助嘱託員報酬 3人	4,320	4,320	
9節	設計業務等補助嘱託員費用弁償	83	60	
11節	消耗品費	1,646	1,646	
	印刷製本費	83	0	
13節	市有建築物の耐震改修設計業務委託料	4,115	2,808	
14節	建築積算システム機器賃借料	2,360	2,360	
	営繕積算システム賃借料	1,602	1,602	
	電子複写機賃借料	136	71	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			936

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎防災・安全 ○地震対策・風水害対策の充実

建築相談事業

【 建築指導課 】

※重点事業(事業CD:5-1-1-6)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 防災・安全
 施策の方針 地震対策・風水害対策の充実

【 事業の目的 】

対象 昭和56年5月31日以前に建築された一戸建ての住宅・2世帯住宅・店舗併用住宅(いずれも在来工法で木造2階建て以下)・マンション等

意図 当該建築物等を所有する市民の安全を図るため。

効果 建築物等の安全性に対する市民の防災意識の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 窓口で耐震相談を受け、希望者に現地耐震診断を行い、診断費用を助成した。
- ・ 木造住宅の耐震改修工事や危険ブロック塀等の撤去を行った場合の費用を助成した。
- ・ 共同住宅等への耐震改修アドバイザーの派遣及びマンションの耐震診断費用を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
28,259	16,143	14,841		1,302
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	耐震改修アドバイザー派遣事業謝礼		102	17
13節	耐震相談業務委託料		357	339
19節	現地耐震診断補助金		1,950	2,250
	木造住宅耐震改修工事費等補助金		8,600	10,900
	危険ブロック塀等対策事業補助金		2,000	351
	マンション耐震診断補助金		1,500	984
	避難路沿道建築物耐震診断補助金		13,750	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			8,270

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

都市調整運営事務

【 都市調整課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 計画的な土地利用によるまちづくりの推進のため。

効果 災害に強く、市民の福祉を高め、かつ環境保全に配慮した安全で快適なまちづくりの実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・鎌倉市開発事業における手続及び基準等に関する条例等に関する業務を行った。
- ・開発事業等に係る公共施設管理者の同意及び協議に基づく協議書に関する業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,053	6,053	5,897		156
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 2人、同(開発等許認可指導) 1人		5,117	5,078
9節	事務補助嘱託員費用弁償		528	413
11節	消耗品費		396	396
	印刷製本費		2	0
19節	神奈川県八市開発許可研究協議会負担金		10	10

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

開発審査事務

開発審査課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 開発事業者等

意図 開発許可制度等を活用して、安全で住みやすい宅地の造成、秩序ある都市づくりを図るため。

効果 安全で快適な住環境の創造を図る。

【 事業の内容 】

- ・都市計画法及び宅地造成等規制法による各種申請等の受付、審査、許可書の交付を行った。
- ・開発行為、宅地造成工事の完了検査及び検査済証の交付を行った。
- ・神奈川県開発審査会案件を付議した。
- ・開発許可等の違反に対する是正指導及び措置を行った。
- ・租税特別措置法に基づく優良宅地の認定は、申請が無かったため行わなかった。
- ・窓口・HPで大規模盛土造成地マップの公表を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
357	357	355		2

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
11節 一般文具等消耗品費	201	200
開発登録簿複写、カラーコピー等印刷製本費	155	155
12節 審査資料等謄写手数料	1	0

建築指導事務

建築指導課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 市街地整備
施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 建築確認申請者等

意図 建築物の安全の確保を図るため。

効果 安心して住める建築物の確保

【 事業の内容 】

- ・ 建築確認申請等に関する事務及び建築基準法に基づく許認可等に関する業務を行った。
- ・ 建築審査会に関する事務及び各種協議会等に関する業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,405	11,405	8,023		3,382

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
1節 建築審査会委員報酬 3人	320	162
建築審査会専門委員報酬 3人	160	22
事務補助嘱託員報酬 2人	2,057	2,056
7節 臨時的任用職員賃金	495	457
9節 事務補助嘱託員等費用弁償	328	57
11節 消耗品費	428	422
印刷製本費	12	0
維持修繕料	2	0
12節 特定行政庁団体賠償責任保険保険料	50	50
13節 特殊建築物等定期報告業務委託料	4,973	3,291
長期優良住宅の認定に係る技術的審査業務委託料	488	0
低炭素建築物の認定に係る技術的審査業務委託料	443	0
建築審査会等会議録作成業務委託料	284	159
14節 建築確認支援システム機器賃借料	756	756
建築行政共用データベースシステム等利用料	99	96
19節 神奈川建築コンクール負担金	120	105
神奈川県建築物震後対策推進協議会負担金	215	215
日本建築行政会議等負担金	175	175

建築基準法に基づく確認及び許可等状況

件名	件数
建築確認	37
計画適合通知	16
建築許可	118
仮使用承認	2
道路位置指定	5
長期優良住宅認定	197
低炭素建築物認定	7

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 5 道路橋りょう総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路橋りょう管理運営事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

・土木積算総合システム保守及び機器等の管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
37,985	37,985	37,885		100
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
11節	消耗品費		452	238
	印刷製本費		16	0
	備品修繕料		49	48
13節	土木積算総合システム保守委託料		7,862	7,862
	工事資材単価調査業務委託料		253	397
14節	土木積算総合システム機器賃借料		24,453	24,452
	市町村システム使用料		4,320	4,320
	電子複写機賃借料		580	568

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 5 道路橋りょう総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

防災安全部市民安全課(交通安全担当)

まちづくり景観部交通計画課

都市整備部道路課(整備担当)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	134,412	137,486
・ 2節 給料 一般職	59,317	58,034
一般職職員 16人		
再任用(短時間) 2人		
・ 3節 職員手当等	52,645	58,106
扶養手当	1,930	2,736
地域手当	9,336	9,412
通勤手当	1,698	1,695
超過勤務手当	9,785	12,865
休日給	368	180
管理職手当	987	1,973
期末勤勉手当	24,535	24,725
住居手当	2,626	2,840
児童手当	1,380	1,680
・ 4節 共済費	22,450	21,346
市町村職員共済組合負担金	22,115	20,889
社会保険料	267	388
雇用保険料	68	69

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎総合交通 ○交通安全意識の高揚

交通安全対策事業

【 市民安全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 総合交通
施策の方針 交通安全意識の高揚

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 交通環境の改善を図り、関係機関等との連携により、交通安全教育をはじめ各種交通安全対策を推進し交通事故による死傷者数の減少を図るため。

効果 交通事故及び死傷者の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市の交通安全を推進するため、市内交通関係機関及び団体相互の連絡を密にし、総合的・効果的な交通安全対策を推進し、交通事故防止を図るための各種事業を実施した。
- ・ スクールゾーンの交通安全対策として、カラー舗装等を実施した。
- ・ 富士見町駅下横断歩道に、交通誘導員を通学時間帯に配置した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
17,769	17,769	16,699		1,070
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	交通安全教育指導員報酬 3人		4,620	4,620
8節	自転車教室指導員謝礼		512	376
9節	交通安全教育指導員費用弁償		414	401
11節	消耗品費		90	87
12節	交通安全教室損害保険料		30	30
13節	スクールゾーン対策業務委託料		4,500	4,259
	富士見町駅下交通誘導業務委託料		778	725
19節	鎌倉市交通安全対策協議会補助金		6,500	5,881
	鎌倉交通安全協会補助金		160	160
	大船交通安全協会補助金		160	160
22節	交通安全教室参加者賠償金		5	0

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎総合交通 ○駐輪対策の推進

放置自転車防止事業

【 交通計画課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 駐輪対策の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 自転車等の放置防止により市民等の通行の安全、災害時の緊急活動の円滑化を図るため。

効果 駐輪場整備及び放置自転車等の警告移動を行い、市民等の通行の安全を図る。

【 事業の内容 】

- ・駐輪場への誘導及び放置自転車等に対する警告や、警告後も移動しない放置自転車等の移動を委託した。
- ・放置しづらい環境づくりのため、歩行者の通行に配慮したプランター等の設置を委託した。
- ・市が管理する駐輪場の巡回管理及び自転車等保管場所の警備を委託した。
- ・保管期間が経過した自転車等のうち、リサイクルされないものの処分を委託した。
- ・鎌倉駅西口の駐輪需要に対応するため、市役所敷地内に暫定駐輪場の設置及びそれに伴う指定管理者の選定業務を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
48,229	53,412	50,660		2,752
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	放置自転車等返還業務嘱託員報酬 9人		8,639	8,625
	事務補助嘱託員報酬 2人		2,057	2,056
	鎌倉駅西口暫定自転車駐車場指定管理選定委員会委員報酬 4人		0	84
8節	鎌倉駅西口暫定自転車駐車場指定管理選定委員会委員報償費		104	0
9節	事務補助嘱託員費用弁償		135	128
11節	消耗品費		142	141
	印刷製本費		1	0
	光熱水費		663	312
	放置自転車保管場所等維持修繕料		409	56
12節	電信料		103	74
	放置自転車等賠償責任保険料		37	36
13節	放置自転車等廃棄処分業務委託料		372	108
	放置自転車等保管場所警備業務委託料(大船)		87	87
	放置自転車等保管場所警備業務委託料(鎌倉)		143	142
	放置自転車等防止対策看板設置委託料		529	427
	放置自転車等防止対策業務委託料		27,504	25,562
14節	稲村ガ崎自転車等駐車場土地使用料		178	177
	鎌倉駅西口第1自転車等駐車場土地使用料		2,187	2,187
15節	鎌倉駅西口暫定自転車駐車場整備工事請負費		4,831	10,446
16節	駐輪場設置及び修繕用原材料費		103	12
22節	放置自転車等賠償金		5	0

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

交通安全施設維持事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 道路整備
 施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全な交通を確保し、事故防止を図るため。

効果 交通の円滑化、安全性の向上を図る。

【 事業の内容 】

・道路ラインの補修等を行い交通事故防止を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,428	4,428	2,711		1,717
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
11節	ガードレール塗装等維持修繕料 (延長60.2m 塗装面積51.3㎡)		462	459
	カラー舗装等維持修繕料		1,709	0
13節	道路ライン等設置業務委託料 (区画線 延長3,450.5m、文字記号 延長1,118.8m、交差点鋸 1箇所)		2,256	2,252
22節	物件移転等補償金		1	0

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

交通安全施設整備事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 道路整備
 施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全な交通を確保し、事故防止を図るため。

効果 交通の円滑化、安全性の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・交通安全施設を改修し、安全で円滑な交通を確保するとともに、通学路の安全対策を実施した。
- ・市道055-000号線の交通安全対策施設工事(歩道段差等改善)は、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・市道212-053号線外の交通安全対策施設工事(ガードレール設置)を行った。
- ・前年度からの繰越し明許費により、市道055-000号線の交通安全対策施設工事(歩道段差等改善)を行った。
- ・市道055-000号線の交通安全施設整備工事(舗装工、ガードレール設置)を行った。
- ・市道027-000号線の交通安全施設整備工事(舗装工、現場打L型側溝等)を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
41,721	37,360	24,427	4,390	8,543
<支出内訳>				
15節 交通安全対策施設工事請負費			当初予算額	支出済額
内訳			26,093	15,232
鎌倉山四丁目10番先(市道055-000号線)			9,115	2,900
(翌年度への繰越し明許費) 歩道段差等改善11箇所				
佐助一丁目9番先(市道027-000号線)			10,109	0
長谷二丁目20番先外(市道212-053号線外)			6,869	4,860
ガードレール設置 延長105.2m				
山崎1222番地先(市道055-000号線)			0	7,472
(前年度からの繰越し明許費) 歩道段差等改善11箇所				
交通安全施設整備工事請負費			15,628	9,195
内訳				
西鎌倉一丁目21番先(市道055-000号線)			8,349	3,704
舗装工 面積13.7㎡ ガードレール設置 延長59m				
常盤863番地先(市道027-000号線)			7,279	5,491
舗装工 延長38m 面積40.8㎡ 現場打L型側溝 延長38m				
側溝蓋改修 延長38m 道路照明設備設置 1箇所				
<主な特定財源>				
・国県支出金				3,593

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 10 道路維持費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路維持補修事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 道路整備
 施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

- ・道路の維持補修を行い、安全で円滑な交通を確保し、事故防止に努めるとともに、通学路の安全対策を実施した。
 市道060-018号線と市道043-062号線の道路維持修繕工事は、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
 市道205-164号線、市道011-021号線、市道061-000号線、市道054-000号線及び025-028号線の道路維持修繕工事を行った。
 前年度から繰越明許費により、市道025-068号線及び市道005-000号線の道路維持修繕工事を行った。
- ・北鎌倉隧道安全対策工事については、前年度締結した契約を減額変更して実施した。
- ・岡本二丁目階段復旧工事については、前年度からの遞次繰越分を含めて実施した。
- ・崩落土砂の撤去を行い、通行の安全を確保した。
- ・北鎌倉隧道安全対策検討業務を行った。
- ・大船駅東口ペDESTリアンデッキの長寿命化修繕計画を策定した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
204,914	261,126	136,232	25,556	99,338
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	道路維持修繕料		8,835	8,090
	内訳			
	七里ガ浜東二丁目3番先(市道013-000号線)(排水管復旧)			1,447
	大船一丁目2番先(市道209-081号線)(大船駅東口ペDESTリアンデッキ修繕)			2,614
	台二丁目14番先(市道202-052号線)(排水管設置工等)			1,256
	極楽寺一丁目地内(市道010-000号線)(高所危険木除去工等)			648
	台二丁目15番先(市道202-052号線)(舗装工)			886
	山崎1090番地先外(市道059-014号線外)(薄層カラー舗装等)			609
	材木座三丁目3番先(市道004-000号線)(ポストコーン設置) 外1件			630
13節	崩落土砂処分等業務委託料 2件		10,800	4,325
	大船駅東口ペDESTリアンデッキ長寿命化修繕計画策定業務委託料		937	937
	裁判用資料・副本等作成業務委託料		0	686
	北鎌倉隧道安全対策検討業務委託料		0	19,073
14節	作業用地土地賃借料		0	450

15節 道路維持修繕工事請負費	184,341	102,424
内訳		
今泉二丁目8番先(市道060-018号線外)(翌年度への繰越明許費)	23,307	0
高野24番地先(市道205-164号線)	15,422	11,594
舗装工 延長441.8m 面積2,392㎡		
極楽寺二丁目11番先(市道011-021号線)	3,000	2,655
階段補修 延長19.5m、手摺り設置工 延長17.6m		
笛田三丁目3番先(市道043-062号線)(翌年度への繰越明許費)	10,908	0
今泉台二丁目20番先(市道061-000号線)	24,927	18,865
舗装工 延長425.3m 面積2,334㎡		
岡本1018番地先外(市道054-000号線外)	30,477	23,534
舗装工 延長291.2m 面積2,495㎡		
鎌倉山二丁目11番先(市道025-028号線)	17,000	11,647
舗装工 延長218.1m 面積1,069㎡		
北鎌倉隧道安全対策(市道434-046号線)(継続費)	41,300	0
岡本二丁目階段復旧(市道053-101号線)(継続費)	18,000	16,671
鎌倉山一丁目16番先(市道025-068号線)(前年度からの繰越明許費)	0	7,525
舗装工 延長52.3m 面積99.1㎡、排水工 延長42m		
大町五丁目1番先(市道005-000号線)(前年度からの繰越明許費)	0	9,933
ボックスカルバート工 延長10m		
19節 北鎌倉隧道負担金	0	247
22節 物件移転等補償金	1	0
<主な特定財源>		
・国県支出金		279

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 15 道路新設改良費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路新設改良事業

【 道路課 】

※重点事業(事業CD:5-4-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。

効果 交通の円滑化、安全の確保等、交通環境及び生活環境の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・岩瀬今泉周辺の交通対策のための砂押川沿い道路の歩道整備工事については、前年度からの繰越分を含めて実施したが、現年度分を年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・大規模住宅地等の道路改良整備工事を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
360,657	509,276	320,091	148,770	40,415
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節	舗装構成調査業務委託料		5,940	5,311
	鎌倉高校前交差点改良予備設計等業務委託料		9,828	7,341
15節	砂押川沿い歩道整備工事請負費(前年度からの繰越明許費含む)		0	171,816
	砂押川沿い歩道整備工事請負費(翌年度への繰越明許費)		148,770	0
	大規模住宅地等道路改良整備工事請負費		196,118	135,623
	内訳			
	西鎌倉四丁目3番先(市道023-000号線)		32,065	16,740
	舗装工 延長204.1m 面積1,867㎡			
	常盤355番地先(市道046-000号線)		31,082	30,736
	舗装工 延長232.5m 面積1,379㎡			
	梶原一丁目14番先(市道047-047号線)		30,510	13,383
	舗装工 延長140m 面積870㎡			
	津1039番地先(市道022-041号線)		25,445	13,120
	舗装工 延長285.2m 面積967㎡			
	七里ガ浜東二丁目30番先(市道013-000号線)		46,246	30,598
	舗装工 延長318.6m 面積2,480㎡			
	高野7番地先(市道205-162号線)		30,770	31,046
	舗装工 延長285.0m 面積1,608㎡			
22節	物件移転等補償金		1	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			86,623
	・地方債			78,000

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 20 橋りょう維持費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

橋りょう維持補修事業

【 道路課 】

※重点事業(事業CD:5-4-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 橋りょうの機能保持のため調査点検を行った。
- ・ 劣化が著しい箇所の補修等により、安全な交通を確保した。
- ・ 前年度からの繰越明許費による神戸橋の耐震補強等工事については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
34,593	84,593	42,828	34,639	7,126
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	高欄等維持修繕料		2,000	488
13節	橋りょう点検調査業務委託料		13,803	13,209
14節	橋りょう長寿命化修繕計画共同システム使用料		364	364
15節	橋りょう維持修繕等工事請負費		18,425	28,767
	内訳			
	大船二丁目26番先(松竹大通橋)地覆等補修		5,810	7,767
	浄明寺五丁目6番先(西泉水橋)地覆等補修		12,615	0
	腰越三丁目1番先(神戸橋)耐震補強等		0	21,000
	(前年度からの繰越明許費及び翌年度への事故繰越し)			
22節	物件移転等補償金		1	0
<主な特定財源>				
・国県支出金				6,873

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 5 河川総務費

◎下水道・河川 ○水辺環境の整備・創出・管理

河川管理運営事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 下水道・河川

施策の方針 水辺環境の整備・創出・管理

【 事業の目的 】

対象 河川維持管理協力団体等

意図 河川管理事業の円滑な推進を図るため。

効果 協力団体と連携し、良好な水辺環境を目指し、親しまれる川づくりを図る。

【 事業の内容 】

・河川の良い環境を維持するため、河川の清掃及び目視による生態系調査等を協力団体に依頼した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,490	1,490	1,489		1

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
8節 河川維持管理協力団体報償費	240	240
11節 消耗品費	21	21
14節 浸水対策排水施設用地土地賃借料	1,229	1,228

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 5 河川総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
都市整備部下水道河川課

【 職員給与費 】 (単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	24,274	27,568
・ 2節 給料 一般職 一般職職員 4人	11,506	13,509
・ 3節 職員手当等	9,090	9,420
扶養手当	401	247
地域手当	1,787	2,063
通勤手当	787	510
超過勤務手当	718	1,290
休日給	0	37
期末勤勉手当	4,376	4,614
住居手当	841	479
児童手当	180	180
・ 4節 共済費	3,678	4,639
市町村職員共済組合負担金	3,506	4,607
社会保険料	134	0
雇用保険料	38	32

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 10 河川維持費

◎下水道・河川 ○水辺環境の整備・創出・管理

河川維持補修事業

【 下水道河川課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 下水道・河川

施策の方針 水辺環境の整備・創出・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るとともに、市民等に親しまれる河川づくりを進めるため。

効果 河川護岸の崩壊等を未然に防ぐことや、市民等に親しまれる河川づくりを目指す。

【 事業の内容 】

- ・ 準用河川の護岸工事を行った。
準用河川小袋谷川(台1517番地先)
- ・ 普通河川滑川(浄明寺五丁目6番先)の維持修繕工事については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・ マイクロフィルムのデータ化を行った。
- ・ 準用河川のしゅんせつを行った。
- ・ 神奈川県河川協会へ参加した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
53,468	53,468	32,563	8,243	12,662
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	河川管理施設維持修繕料		8,839	6,533
12節	県道復旧にかかる手数料		1	0
13節	準用河川しゅんせつ業務委託料		2,150	1,296
	家屋調査業務委託料		1	0
	マイクロフィルムのデータ化業務委託料		1,088	315
15節	河川維持修繕工事請負費(準用河川小袋谷川(台1517番地先))		10,390	18,910
	河川維持修繕工事請負費(普通河川滑川(浄明寺五丁目6番先))		30,888	5,400
				(翌年度への繰越明許費)
19節	神奈川県河川協会負担金		109	109
22節	地下埋設物移設等補償金		1	0
	工事等に起因する家屋等損害賠償金		1	0

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 10 河川維持費

◎下水道・河川 ○水辺環境の整備・創出・管理

雨水施設維持管理事業

【 下水道河川課・浄化センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 下水道・河川

施策の方針 水辺環境の整備・創出・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るため。

効果 雨水調整池やゲート類等の雨水排水施設について、良好な状態を保持する。

【 事業の内容 】

- ・ 雨水調整池(玉縄・台・腰越・笛田・ハイランド・岡本・城廻)やゲート類等の雨水排水施設について、良好な状態を保持するため、定期点検等を実施した。
- ・ 雨水調整池のしゅんせつを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23,805	20,805	17,853		2,952
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 1人		1,029	1,028
9節	事務補助嘱託員費用弁償		150	55
11節	消耗品費		300	279
	燃料費		28	0
	印刷製本費		20	0
	雨水調整池光熱水費		9,084	4,666
	台調整池直流電源装置修繕料		1,087	1,001
	台調整池高圧開閉器等交換修繕料		0	677
	雨水調整池管理施設維持修繕料		1,713	786
	備品修繕料		54	54
12節	電信料		1,149	1,058
	台調整池自家用電気工作物点検等手数料		2,236	2,171
13節	フラップゲート点検委託料		951	713
	雨水調整池しゅんせつ業務委託料		2,335	1,731
	玉縄調整池発電機棟建物警備委託料		94	93
	水処理施設等運転管理業務委託料(雨水調整池巡回点検)		1,125	1,125
	台調整池ポンプ機器及びゲート類総合点検業務委託料		454	431
	腰越調整池スルースゲート点検業務委託料		324	319
	腰越調整池投込式水位計点検業務委託料		321	321
	台調整池計装設備点検業務委託料		1,080	1,075
	岡本調整池及び城廻調整池ポンプ機器点検業務委託料		271	270

風致地区事務

都市調整課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 歴史を継承し、文化を創造するまち
分野 歴史環境
施策の方針 歴史的風土の保存

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市の風致の維持、歴史的風土の保存、緑地の保全を図るため。

効果 「鎌倉」の環境の維持

【 事業の内容 】

- ・ 風致地区内行為許可事務、近郊緑地特別保全地区内行為許可事務及び特別緑地保全地区内行為許可事務を行った。
- ・ 歴史的風土保存区域内行為届出受理事務及び近郊緑地保全区域内行為届出受理事務を行った。
- ・ 古都保存法の啓発及び歴史的風土特別保存地区での行為許可、制限等について周知を行った。
- ・ 平成28年度が古都法施行50周年であったことから、古都の普遍的価値を次世代に継承していく機運を高めることを目的とした記念事業を行った。
- ・ 古都保存法歴史的風土特別保存地区に関する許可申請について、神奈川県へ経由事務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,197	3,197	2,865		332
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 1人		1,215	1,028
8節	古都法施行50周年記念事業報償費		300	0
9節	事務補助嘱託員費用弁償		87	83
11節	消耗品費		240	40
	印刷製本費		1,114	0
	風致地区内標柱維持修繕料		206	179
19節	古都保存連絡協議会負担金		35	35
	鎌倉市古都保存法施行50周年記念事業実行委員会負担金		0	1,500
<主な特定財源>				
	・国県支出金			170

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑政運営事業

【 みどり課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 緑の基本計画に沿った施策展開による計画を実現するため。

効果 緑の基本計画に基づき、種々の施策を展開し、緑豊かな都市環境の形成と市民の安全・快適な生活の確保を図る。

【 事業の内容 】

・ 緑の保全、創造等、緑政の重要事項に対する方向づけを行うため緑政審議会を開催した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,133	1,133	953		180

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
1節 緑政審議会委員報酬 9人	306	154
緑化推進専門委員報酬 1人	408	408
11節 消耗品費	116	113
印刷製本費	63	38
19節 森林協会等負担金	240	240

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑地取得事業

【 みどり課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 緑の基本計画に基づく保全すべき緑地や、特別緑地保全地区内の土地の所有者

意図 都市緑地法に基づく買入れの申出に伴う取得及び法指定前の緑地保全の緊急対応のため。

効果 保全すべき緑地を確保する。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉近郊緑地特別保全地区内における行為の不許可処分に伴う買入れ申出により、都市緑地法第17条に基づき緑地を買い入れた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
114,717	194,425	194,424		1
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節	鎌倉近郊緑地特別保全地区不動産鑑定評価業務委託料		775	195
17節	鎌倉近郊緑地特別保全地区土地公有財産購入費		113,942	194,229
<主な特定財源>				
	・国県支出金			106,800
	・地方債			78,600

緑化啓発事業

みどり課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 緑の基本計画の周知を図り、市民と連携して緑の環境づくりを推進するため。

効果 緑地等の保全、管理活動を市民と連携して推進し、市域全体を緑豊かにすることにより、これまで確保してきた緑地や都市公園等の機能を高める。

【 事業の内容 】

- ・市民との連携による緑の環境づくりを推進するため、緑の学校、緑のレンジャー等の緑化啓発事業に関する業務を委託し、緑化啓発に努めた。
- ・敷地が道路に接する部分を新たに緑化する者に補助金を交付した。
- ・横浜市で行われた第33回全国都市緑化フェアに花壇出展した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,243	7,243	7,231		12
<支出内訳>				
8節	ポスターコンクール優秀賞等報償費		当初予算額	支出済額
			114	102
11節	消耗品費		31	31
13節	緑化啓発に関する業務委託料		3,581	3,581
	<委託業務内容>			
	○緑の学校の企画・運営等 (参加者数=47名 開催回数=10回(延321名))			
	○緑のレンジャー・ジュニアの企画・運営等 (参加者数=46名 開催回数=11回(延364名))			
	○緑のレンジャー・シニアの企画・運営等 (参加者数=20名 開催回数=11回(延143名))			
	○緑のレンジャー自主活動グループの支援・育成等 (参加者数=延372名 開催回数=19回)			
19節	第28回鎌倉市緑化まつり事業負担金		160	160
	第33回全国都市緑化フェア負担金		2,500	2,500
	まち並みのみどりの奨励事業補助金 (件数=12件 総延長=122.3m)		857	857

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

樹林維持管理事業

公園課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 良好な状態の樹林地を保育しようとするため。

効果 樹木の健全な生育と生態系を含む豊かなみどり空間を市民に提供する。

【 事業の内容 】

・対象樹林地の枝払いや枯損木・倒木の処理、除間伐などの業務を委託した。

・平成28年度は、山ノ内・今泉(山ノ内・大船未表示・今泉一～六丁目・今泉台一～七丁目・岩瀬・高野全域・岡本二丁目)地区を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,852	11,852	8,707		3,145

<支出内訳>

13節 樹林維持管理委託料

当初予算額

支出済額

12,852

8,707

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑地保全事業

【 みどり課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
 分野 みどり
 施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 美観上優れた樹木・樹林・生け垣の指定や、秩序ある市街地形成に必要な樹林地に対し、所有者の同意を得て、緑地保全契約を締結して保全するため。

効果 貴重な歴史的遺産と融合した緑地や豊かな自然環境を保全する。

【 事業の内容 】

- ・ 寄附金を緑地保全基金に積み立てた。
- ・ 保存樹林、樹木、生け垣に対して奨励金を交付し、所有者に対して支援した。
- ・ 市街化区域にある緑地を保全するため、土地所有者と緑地保全契約を締結し奨励金を交付した。
- ・ 緑の基本計画に沿って確保した緑地のうち、荒廃が進むおそれのある樹林地等を質的に向上させるための整備業務を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
34,532	34,532	28,504		6,028
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	市民緑地愛護会報償費		30	30
13節	確保緑地の適正整備委託料(5件)		3,000	1,852
19節	保存樹林奨励補助金		14,185	12,762
	197件 2,417,926.81㎡			
	保存樹木奨励補助金		610	570
	67件 319本			
	保存生け垣奨励補助金		902	756
	113件 9,187.51㎡			
	緑地保全契約奨励補助金		9,334	8,379
	127件 559,415.72㎡			
25節	緑地保全基金新規積立金		1,000	247
	緑地保全基金利子積立金		1,620	140
	緑地保全基金寄附等積立金		3,851	3,768

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

風致保存会助成事業

【 みどり課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 みどり
施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉の歴史的景観と豊かな自然環境を後世に伝えるために活動している(公財)鎌倉風致保存会の組織の充実を図り、自主的運営の強化を図るため。

効果 会員(市民等)と連携した緑の環境づくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・ 風致保存会を運営するための補助金を交付した。
- ・ 鎌倉市風致保存基金に積み立てた一般からの寄附金を同会へ寄附金として交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,690	12,690	12,024		666

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
19節 風致保存会運営費補助金	10,312	10,312
25節 風致保存基金寄附等積立金	1,189	856
26節 風致保存会寄附金	1,189	856

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○都市公園等の整備・管理

緑地維持管理事業

【

公園課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園等の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 防災に配慮しつつ、樹木伐採等を行うことにより、良好な緑地の維持管理を図るため。

効果 より適確な植生管理を行うことにより良質な樹林地の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 緑地の枝払いや倒木の恐れのある樹木の伐採等を行った。
- ・ 大雨等による災害を未然に防ぐため、落石防止網設置を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
50,391	50,391	41,591		8,800
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			6	2
光熱水費			44	44
管理施設維持修繕料			3,878	1,853
12節 電信料			44	43
緑地に関する賠償補償保険等保険料			1,616	1,393
13節 緑地維持管理委託料			39,823	34,324
(仮称)関谷緑地用地不動産鑑定評価業務委託料			0	399
15節 緑地維持管理工事請負費			4,979	3,533
22節 緑地に関する賠償金			1	0

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎都市景観 ○良好な都市景観形成事業の推進

都市景観形成事業

【 都市景観課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
 分野 都市景観
 施策の方針 良好な都市景観形成事業の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 景観法の活用により、開発行為や建築行為等に対する景観誘導、市民・事業者への普及・啓発・支援、行政の先導的な都市景観形成事業の推進を図るため。

効果 古都としての風格を基調とし、地域の特性を生かした都市景観を守り、つくり、育てることにより、潤いと安らぎのある快適なまちづくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・ 古都としての風格ある都市景観形成を推進するための調査や助成などを行った。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、景観計画の改定を行った。
- ・ 旧村上邸の遺贈を受け、適切な維持管理を行った。
- ・ 景観計画、景観地区等による良好な景観の形成を推進した。
- ・ 鎌倉市屋外広告物条例の制定を含めた適正な規制・誘導策の検討及び違反屋外広告物除却キャンペーンの実施など普及啓発を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,516	40,714	35,765		4,949
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
1節 景観審議会委員報酬 10人			204	216
8節 景観アドバイザー等報償費			69	34
11節 消耗品費			80	100
印刷製本費			1,270	643
光熱費			0	45
維持修繕料			1	2,298
12節 電信料			0	33
違反屋外広告物除却協力員ボランティア保険料			24	24
13節 違反屋外広告物運搬処分業務委託料			37	0
行政刊行物販売委託料			30	23
旧村上邸庭園管理等委託料			0	1,529
旧村上邸建仁寺塀建替業務委託料			0	429
旧村上邸警備委託料			0	280
景観計画改定業務委託料(前年度からの繰越明許費)			0	3,780
19節 景観重要建築物等補助金			2,750	2,750
景観形成協議会活動補助金			1	0
22節 違反屋外広告物除却協力員ボランティア保険賠償金			5	0
25節 景観重要建造物等保全基金運用利子積立金			45	1
景観重要建造物等保全基金寄附等積立金			10,000	23,580

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎生活環境 ○海浜の環境保全

海浜保全事業

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 海浜の環境保全

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 海浜の保全と活用を図るため。

効果 樹林地、河川、海浜を一体としたネットワークにおいて海浜の環境と景観の保全を図る。安全で快適に過ごせる空間づくりと海浜の活用を図る。

【 事業の内容 】

・海浜保全に係る業務、神奈川県・鎌倉市・藤沢市・茅ヶ崎市サーフ90ライフセービング支援業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
445	445	407		38
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
11節	消耗品費		30	4
	既存車止め等維持修繕料		135	133
12節	諸手続等手数料		5	0
13節	海岸の障害物処分等業務委託料		5	0
19節	サーフ90ライフセービング事業負担金		270	270

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

都市計画運営事務

【 都市計画課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 市街地整備
 施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市全域の土地利用・まちなみ

意図 都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、もって市域の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与するため。

効果 まちづくりの基本理念である「くらしに自然・歴史・文化がいきる古都鎌倉」(鎌倉市都市マスタープランより)を目指す。

【 事業の内容 】

- ・都市計画に関する事項の調査・審議のため都市計画審議会を運営するとともに、都市計画の決定・変更、都市計画事業の認可等の手続を行った。
- ・都市計画関連情報を更新し、都市計画図等の印刷を行い、活用・販売した。
- ・都市計画業務支援システムを活用した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,107	18,930	18,448		482
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	都市計画審議会委員報酬 13人		426	306
	事務補助嘱託員報酬 1人		1,029	1,028
9節	事務補助嘱託員費用弁償		92	88
11節	消耗品費		264	264
	印刷製本費		2,374	2,031
	パソコン維持修繕料		1	0
12節	筆耕翻訳料		1	0
13節	鎌倉市都市計画基礎調査業務委託料		14,267	13,089
	都市計画業務支援システム保守業務委託料		454	454
	都市計画関連データ等修正業務委託料		832	832
14節	都市計画業務支援システム用機器等賃借料		357	346
19節	県都市計画実務担当者連絡協議会負担金		10	10
<主な特定財源>				
	・国県支出金			5,027

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

市街地整備運営事業

再開発課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 大船駅周辺整備事務所(拠点整備部)

意図 部内の庶務及び施設の維持管理を行うため。

効果 事務事業の進行管理、連絡調整及び適切な施設管理を行うことにより、良好な職場環境の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 部内の予算要求、執行管理、予算・決算・監査に関する事項を行った。
- ・ 施設の適正な維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,434	4,434	3,552		882
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 1人		1,029	1,028
9節	事務補助嘱託員費用弁償		42	60
11節	一般文具等消耗品費		651	316
	車両燃料費		202	107
	光熱水費		746	715
	事務所設備等修繕料		450	259
	備品修繕料		5	0
	車両修繕料		202	113
12節	電信料		314	192
	消防設備点検手数料		24	24
	火災等保険料		82	76
13節	事務所警備業務委託料		76	75
	事務所清掃等業務委託料		177	177
14節	NHK放送受信料		15	15
	ジェイコム湘南受信料		6	6
	電話設備賃借料		164	164
	FAX・コピー複合機賃借料		240	217
27節	自動車重量税		9	8

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

古都中心市街地整備事業

再開発課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 市街地整備
 施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 豊かな歴史的遺産と良好な自然環境を活かし、市民・来訪者が快適に共存できる風格と活力ある古都鎌倉の顔を再生・創造するため。

効果 鎌倉駅西口駅前広場等の整備を進め、多くの市民・来訪者が快適に共存できる古都鎌倉の玄関口の創出を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉駅西口駅前広場の暫定的整備に向けた、用地測量、不動産鑑定等を行った。
- ・ 鎌倉駅西口駅前広場の暫定的整備に向けた、権利者との調整及び関係機関等との協議を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,738	3,220	3,154		66
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	一般文具等消耗品費		60	0
	陽画等印刷製本費		6	0
13節	鎌倉駅西口駅前広場用地測量業務委託料		465	432
	鎌倉駅西口駅前広場用地不動産鑑定評価業務委託料		379	130
	鎌倉駅西口駅前広場用地建物等補償調査算定業務委託料		4,828	2,592

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

深沢地域整備事業

【 深沢地域整備課 】

※重点事業(事業CD:5-2-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 市街地整備
 施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉駅周辺、大船駅周辺と並ぶ第三の都市拠点の形成を図るため。

効果 全市的な課題や少子高齢化社会に対応したまちづくりが実現する。

【 事業の内容 】

- ・事業の遅延に伴う権利者の生活再建策の立案や合意形成の再構築、土地区画整理事業の着実な進捗への助言など、引き続き専門家の支援を受けるとともに、平成25年度から設置している換地、補償等に係る権利者の相談窓口としての対応を行った。
- ・市民や民間事業者等の意見を踏まえ、修正土地利用計画(案)を策定した。
- ・深沢地区土地区画整理推進委託については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・事業用地(A用地)について、平成27年度に実施した土壌汚染対策処理の際に大気中における環境省が示す指針値を超えた水銀を検出したため、現在の状況を正確に把握する目的で環境調査を実施した。
- ・深沢地域整備事業用地の維持管理を行った。
- ・湘南地区整備連絡協議会の運営を行うとともに、市街地整備促進協議会に参加した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
28,153	41,484	26,391	13,330	1,763
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 1人		1,029	1,028
8節	技術アドバイザー謝礼		306	102
9節	事務補助嘱託員費用弁償		69	60
11節	一般文具等消耗品費		447	444
	陽画等印刷製本費		178	0
13節	深沢地区土地区画整理事業支援業務委託料		20,694	20,644
	深沢地区土地区画整理事業区域界測量業務委託料		1,213	1,026
	深沢地域整備事業用地管理業務委託料		4,067	2,440
	深沢地域整備事業用地(A用地)環境調査業務委託料		0	497
	深沢地区土地区画整理事業推進業務委託料 (翌年度への繰越明許費)		0	0
19節	湘南地区整備連絡協議会負担金		100	100
	市街地整備促進協議会負担金		50	50

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

大船駅周辺整備事業

再開発課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 市街地整備
 施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 「大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本構想」に基づいて、大東橋周辺、鎌倉芸術館周辺、大船駅南部などの各地区において、都市基盤施設や都市環境の整備を推進するため。

効果 「大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本構想」に定めた地区の将来像の実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・大東橋周辺、鎌倉芸術館周辺、大船駅南部などの各地区のまちづくりの進捗状況の整理を行った。
- ・「砂押川桜保全再生計画」に基づく、住民主体の保全再生活動の支援を行った。
- ・大船駅北第二地区市街地再開発事業(横浜市域:組合施行)の実施にともなう協議を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
473	473	287		186

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
8節	鎌倉芸術館周辺地区まちづくり活動支援等謝礼	60	24
11節	鎌倉芸術館周辺地区まちづくり活動支援等消耗品費	113	0
	陽画等印刷製本費	31	0
13節	砂押川プロムナード枯枝胴ぶき等伐採処分業務委託料	269	263

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

大船駅西口整備事業

再開発課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 市街地整備
施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 歩行者と車両分離による安全性の確保などにより、大船駅西口周辺の交通環境などの改善を図るため。

効果 大船駅西口の周辺交通環境などの改善により、市民等の安全性と利便性の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・「横浜・鎌倉两市一体整備計画(案)」の廃止を含めた取扱いについて、横浜市と協議を進めた。
- ・都市計画道路阿久和鎌倉線の整備に向け、関係機関と協議を進めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
32	32	0		32
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	一般文具等消耗品費		21	0
	陽画等印刷製本費		11	0

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

大船駅東口再開発事業特別会計繰出金	【 再開発課 】
--------------------------	----------

【 事業の内容 】
・ 大船駅東口再開発事業特別会計への繰出金を支出した。

【 事業費 (単位:千円) 】

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
51,009	52,263	52,263		0

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
28節 繰出金	51,009	52,263

交通環境整備事業

交通計画課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 総合交通
施策の方針 道路・交通体系の検討

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・市内の交通量を把握し交通対策上の基礎資料とするため、市内主要交差点等において、一般交通量及び渋滞状況調査並びに資料収集を行った。
- ・「パークアンドライド」及び「鎌倉フリー環境手形」について、交通関係事業者との調整を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,899	5,899	4,302		1,597
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	渋滞統計システム関連等消耗品費		808	746
	印刷製本費		402	327
	パークアンドライド案内看板維持修繕料		2,480	1,830
13節	交通量調査業務委託料		1,998	1,188
19節	パークアンドライド自動発券機等負担金		211	211

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○道路・交通体系の検討

交通体系整備事業

【 交通計画課 】

※重点事業(事業CD:5-3-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 道路・交通体系の検討

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市交通計画検討委員会(市民、交通事業者等で構成)の運営及び鎌倉地域の地区交通計画を策定するための資料等の作成を行った。
- ・ 鎌倉市交通計画検討委員会特別委員会(国の行政機関等で構成)の運営及び自動車利用の抑制策に関するシステム設計や法的な条件整理、補助制度の活用等に関する調整資料の作成を行った。
- ・ 大仏前の県道における渋滞発生要因の一つである観光バス乗降時の駐停車対策として、民有地を賃借し駐車場を整備する予定だったが、地権者との交渉が不調に終わったことから実施することができなかった。
- ・ 鎌倉駅東口駅前広場の舗装改修にあたり、利便性向上に向け、歩行者等の交通量調査及び検討業務を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
56,152	33,252	31,303		1,949
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	交通計画検討委員会委員報酬 23人		792	311
	交通計画検討委員会特別委員会委員報酬 5人		194	136
8節	交通政策専門員報償費		68	0
9節	交通計画検討委員会委員費用弁償		24	0
13節	鎌倉地域地区交通計画策定支援業務委託料		8,068	6,761
	交通需要管理検討業務委託料		4,990	4,979
	鎌倉地域交通量調査等実施業務委託料		15,865	12,960
	鎌倉駅東口駅前広場交通量調査等業務委託料		10,789	6,156
14節	(仮称)市営長谷駐車場土地賃借料		3,600	0
15節	(仮称)市営長谷駐車場整備工事請負費		11,762	0

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○公共交通機関の輸送力の向上と利用促進

公共交通支援事業

【 交通計画課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 公共交通機関の輸送力の向上と利用促進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関の輸送力の向上と利用促進を図る。

【 事業の内容 】

・鎌倉市移動円滑化基本構想に基づき、公共交通事業者が実施するエレベーター設置について支援した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,666	16,666	16,666		0
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
19節 富士見町駅舎エレベーター設置補助金			16,666	16,666
<主な特定財源>				
・国県支出金				8,333

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費
 ◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

国県道対策運営事務

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 道路整備
 施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市計画法、道路法等に基づき国県道の整備・改良を促進し、良好な道路交通機能等の向上を達成するため。

効果 交通渋滞の緩和、災害時を含む緊急活動の円滑化を図る。

【 事業の内容 】

- ・小袋谷跨線橋の架け替えを含む腰越大船線事業に関する協議・調整を行った。
- ・国・県等が施工する都市計画道路等に関する協議・調整を行った。
- ・供用中の国・県道に関する住民要望に対応した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,287	1,287	1,201		86
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 1人		1,029	1,028
9節	事務補助嘱託員費用弁償		150	85
11節	消耗品費		23	22
	印刷製本費		6	0
14節	会場使用料		3	0
19節	首都圏中央連絡道路建設促進期成同盟会負担金		40	30
	関東国道協会負担金		36	36

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

国県道対策事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 道路整備
施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業の促進を図るため。

効果 神奈川県及び市民等との連絡調整を行うことにより、都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業の円滑な実施を図る。

【 事業の内容 】

・都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業に伴う事務事業の円滑な執行を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26	26	25		1

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

11節 一般文具等消耗品費 26 25

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路整備計画等運営事務

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。

効果 交通の円滑化、安全の確保等、交通環境の向上及び都市景観等の生活環境の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・神奈川県都市計画街路事業促進協議会に加入し、その活動により都市計画道路の整備の促進を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
106	106	106		0

<支出内訳>

19節 神奈川県都市計画街路事業促進協議会負担金

当初予算額

106

支出済額

106

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

街路樹維持管理事業

【 公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 道路整備
 施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 街路樹の適度な生育等を促し、緑豊かな道路空間の形成とまち並みを整え、市民との協働により適切な管理を行うため。

効果 まち並みを整えるとともに潤いある道路空間を提供し、公園緑地等と連携したみどりのネットワークの形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・街路樹を市民自らが守り育てる活動を行っている街路樹愛護会を支援するため、報償金の支給や花苗の配布を行った。
- ・街路樹の維持管理を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
17,730	17,730	14,909		2,821
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	街路樹愛護会報償費		1,350	1,240
11節	消耗品費		400	306
13節	大船駅東口花壇維持管理委託料		836	836
	街路樹維持管理委託料		14,645	12,078
	街路樹植替委託料		499	449

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

環境部環境保全課(環境保全担当)
 まちづくり景観部のうち都市計画課・交通計画課・都市景観課・みどり課
 都市調整部都市調整課(風致担当)
 都市整備部のうち道路課(国県道対策担当)・公園課
 拠点整備部(再開発課拠点整備総務担当及び再開発担当を除く)

職員給与費

(単位:千円)

＜支出内訳＞	当初予算額	支出済額
職員給与費	475,121	480,358
・ 2節 給料 一般職	212,987	215,144
一般職職員 56人		
再任用(短時間) 2人		
・ 3節 職員手当等	182,920	187,822
扶養手当	7,129	7,840
地域手当	34,630	35,038
通勤手当	6,731	6,347
超過勤務手当	11,735	16,495
休日給	0	347
管理職手当	11,918	11,656
期末勤勉手当	92,346	94,361
住居手当	13,756	11,228
児童手当	4,675	4,510
・ 4節 共済費	79,214	77,392
市町村職員共済組合負担金	78,880	76,935
社会保険料	267	389
雇用保険料	67	68

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 15 公共下水道費

◎下水道・河川 ○下水道の整備・管理

下水道事業特別会計繰出金

【 都市整備総務課 】

【 事業の内容 】

・ 下水道事業特別会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,401,600	2,422,906	2,422,906		0

<支出内訳>

28節 繰出金

当初予算額 支出済額
2,401,600 2,422,906

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園等の整備・管理

公園運営事業

【 公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園等の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 散在ガ池森林公園に都市公園等緑化推進専門委員を配置し、樹木育成調査及び樹木病虫害防止の調査を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
170	170	168		2

< 支出内訳 >

当初予算額 支出済額

1節	都市公園等緑化推進専門委員報酬 1人	68	68
19節	全国都市公園整備促進協議会負担金	42	42
	神奈川県公園緑地行政連絡協議会負担金	10	8
	日本公園緑地協会負担金	50	50

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園等の整備・管理

公園維持管理事業

【 公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
 分野 みどり
 施策の方針 都市公園等の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な維持管理を図るため。

効果 適確な施設管理を行うことにより良質な公園の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 樹木剪定、草刈、小規模な修繕など良好な公園の維持管理を図るための業務を指定管理者に委託した。
- ・ 岩瀬下関防災公園及び笛田一丁目公園の維持管理を行った。
- ・ 経年劣化により撤去した遊具などの交換及び市民要望による公園施設の設置等を行い、より市民ニーズに対応した公園の創造を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
310,909	310,909	309,275		1,634
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		457	409
	維持修繕料		14,818	14,685
12節	ボランティア保険料		15	15
13節	都市公園(笛田公園を除く)指定管理料		202,433	202,433
	都市公園(笛田公園)指定管理料		22,958	22,958
	鎌倉広町緑地指定管理料		25,800	25,800
	児童遊園等管理委託料		9,893	9,893
	岩瀬下関防災公園管理委託料		3,321	3,321
	笛田一丁目公園管理委託料		1,583	1,583
	公園維持管理委託料		1,491	860
	鎌倉広町緑地管理事務所警備委託料		102	102
14節	児童遊園等土地賃借料		24,444	23,622
	梶原六本松公園土地賃借料		3,594	3,594

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園等の整備・管理

公園整備事業

【 公園課 】

※重点事業(事業CD:3-1-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園等の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・(仮称)山崎・台峯緑地等の供用開始に向けて、樹林管理等を行った。
- ・(仮称)扇湖山荘の整備として、防災工事等を行った。
- ・(仮称)山ノ内東瓜ヶ谷緑地及び(仮称)山崎・台峯緑地の施設整備工事等については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
139,180	139,180	62,017	56,846	20,317
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節	消耗品費	103	84	
	印刷製本費	36	0	
12節	ボランティア保険料	10	0	
13節	都市公園等整備事業用地樹林管理業務等委託料	12,723	10,245	
	(仮称)山崎・台峯緑地(保全)用地測量・台帳整備業務委託料	1,890	0	
	(仮称)山崎・台峯緑地(保全)都市計画決定図書作成業務委託料	702	0	
	(仮称)山ノ内東瓜ヶ谷緑地台帳整備業務委託料	1,760	0	
14節	夫婦池公園用地賃借料	1	0	
15節	(仮称)扇湖山荘防災工事請負費	19,689	17,188	
	(仮称)山崎・台峯緑地(公園)整備工事請負費	85,741	27,100	
	(翌年度への事故繰越)			
	(仮称)山ノ内東瓜ヶ谷緑地整備工事請負費	16,524	7,270	
	(翌年度への事故繰越)			
19節	(仮称)山ノ内東瓜ヶ谷緑地水道利用加入費	0	130	
22節	都市公園予定地等に関する賠償金	1	0	

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園等の整備・管理

公園用地取得事業

【 公園課 】

※重点事業(事業CD:3-1-2-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園等の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【 事業の内容 】

・ (仮称)山崎・台峯緑地用地を取得し、早期開園に向け準備を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,214,606	766,639	716,642		49,997
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			119	73
印刷製本費			278	201
13節 鎌倉広町緑地用地不動産鑑定評価業務委託料			2,223	0
(仮称)山崎・台峯緑地用地不動産鑑定評価業務委託料			2,635	1,631
(仮称)山崎・台峯緑地用地公共嘱託登記業務委託料			0	1,234
17節 鎌倉広町緑地用地購入費			61,563	0
(仮称)山崎・台峯緑地用地購入費			1,147,788	713,503
<主な特定財源>				
・ 国県支出金				237,700
・ 地方債				427,700

市営住宅管理運営事業

【 建築住宅課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 住宅・住環境
施策の方針 鎌倉らしい住まいづくり

【 事業の目的 】

対象 住宅に困窮している市民及び市営住宅入居者

意図 市営住宅の入居者選考を行うとともに、市営住宅建物の修繕等により適正な管理・運営を行うため。

効果 市営住宅入居の公平性及び入居者が安心して住める居住環境を確保する。

【 事業の内容 】

- ・市営住宅入居者選考委員会の開催など、市営住宅の運営に係る事務を行った。
- ・市営住宅の改修工事及び指定管理者による維持管理を行った。
- ・借り上げ住宅の賃借料の支払いを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
149,106	149,106	148,144		962
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	市営住宅入居者選考委員会委員報酬 5人		52	52
8節	市営住宅抽選会立会人謝礼		14	12
11節	消耗品費		72	72
	印刷製本費		17	16
	市営住宅各種維持修繕料		500	1,568
13節	公営住宅電算システム保守点検業務委託料		686	686
	市営住宅等指定管理料		39,500	39,500
	口座振替用システム改修業務委託料		810	810
14節	公営住宅管理システム用機器等賃借料		675	674
	福祉型借上市営住宅賃借料		94,542	94,542
15節	市営梶原東住宅第5, 6号棟北側窓手摺等改修工事請負費		10,304	8,510
19節	神奈川県公共住宅供給推進協議会負担金		3	2
	市営住宅管理費等負担金		1,920	1,690
22節	地上デジタル放送電波障害補償金		11	10
<主な特定財源>				
	・国県支出金			3,654

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○鎌倉らしい住まいづくり

住宅政策推進事業

【 建築住宅課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 住宅・住環境
施策の方針 鎌倉らしい住まいづくり

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 若年ファミリー層の転入促進と転出抑制、高齢者・障害者等が暮らし続けることができる住宅施策を推進し、安心して住むことができる環境を整える。

効果 人口の年齢構成バランスに配慮した住まいづくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・若年ファミリー層転入促進等の施策の推進及び住宅マスタープランに掲げる住宅施策の展開を図った。
- ・高齢者、障害者及び子育て世帯の民間賃貸住宅への入居の支援を行った。
- ・第3次鎌倉市住宅マスタープランの策定を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,605	8,605	7,475		1,130
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	鎌倉市住宅マスタープラン策定委員会委員報酬 5人		260	240
8節	住宅政策アドバイザー報償費		135	0
13節	あんしん賃貸支援事業による入居支援業務委託料		272	272
	第3次鎌倉市住宅マスタープラン策定支援業務委託料		7,938	6,963
<主な特定財源>				
	・国県支出金			121

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○鎌倉らしい住まいづくり

空き家等対策推進事業

【 まちづくり政策課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 住宅・住環境
施策の方針 鎌倉らしい住まいづくり

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 空き家等対策を総合的かつ計画的に実施するため。

効果 適切な管理が行われていない空き家等に関する施策を推進し、市民の生活環境の保全を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 空家等対策協議会を設置した。
- ・ 空家等対策協議会の意見等を参考に「鎌倉市空家等対策計画」及び「鎌倉市特定空家等に対する措置に関する対応指針」を策定し、施策の推進を図った。
- ・ 市民等から寄せられる空き家に対する相談に対応した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,676	4,967	4,937		30
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	空家等対策協議会委員報酬 12人		366	336
11節	消耗品費		65	16
	印刷製本費		0	49
13節	空家等対策計画策定支援等業務委託料		9,245	4,536

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【

職員課

】

【 対象となる職員 】

まちづくり景観部まちづくり政策課(空き家対策担当)・都市整備部建築住宅課(住宅担当)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	38,090	39,615
・ 2節 給料 一般職 一般職職員 4人	16,976	16,906
・ 3節 職員手当等	14,724	16,110
扶養手当	566	1,134
地域手当	2,780	2,789
通勤手当	203	158
超過勤務手当	1,420	2,734
休日給	0	11
管理職手当	987	507
期末勤勉手当	7,690	7,992
住居手当	958	775
児童手当	120	10
・ 4節 共済費	6,390	6,599
市町村職員共済組合負担金		